

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	A-750	21-004 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Coronary heart disease in mothers and fathers of adult children with alcohol use disorders アルコール使用障害である成人した子供の母親と父親における冠動脈性心疾患		
執筆者		
Calling S, Ohlsson H, Sundquist J, Kendler KS, Sundquist K.		
掲載誌		
Addiction. 2021 Dec;116(12):3390-3397. doi: 10.1111/add.15591.		
キーワード		PMID
アルコール関連疾患、同胞分析、コホート研究、冠動脈疾患、親		34060172
要 旨		
<p>目的：アルコール使用障害（AUD）は本人への直接的な影響に加え、その家族の精神的・身体的健康に影響を与える可能性があるが、報告がほとんどない。AUD の子供を持つ親における冠動脈性心疾患（CHD）の長期的なリスクを評価し、また共有の遺伝的・環境的要因を制御するため AUD の子供の有無による親世代の兄弟姉妹を比較し、潜在的な関連が同胞分析で保たれるかを検討した。</p> <p>方法：スウェーデンの人口登録データから、1945年から1965年の間に親がスウェーデンで生まれた親子ペア(n = 3,984,167)を抽出した。ベースライン調査は子供が15歳時とし、AUDは医療記録と犯罪記録から評価した。その親を対象として平均18年間の追跡期間中にCHD発症調査を行った。親世代のCHD発症は、国際疾病分類（ICD）コードによって同定し、ベースライン以前のCHD発症者は除外した。子供と両親のAUDは医療登録と死亡登録において、ICDコードにより同定した。解析はCox回帰モデルおよび同胞分析を用いて母親と父親のハザード比（HR）を算出し、潜在的な交絡因子（親の出生年、出産時年齢、子供の性別、親のAUD罹患状況、教育年数、婚姻状況）で調整した。</p> <p>結果：両親のCHD発症は父親8.3%(158,750人)、母親3.6%(74,427人)であり、AUDの子供を持つ割合は、父親が3.7%（70,108人）、母親が4.0%（83,109人）であった。母親ではAUDを持つ子供を持つことにより、CHDの調整後HRが1.24（95%CI=1.19-1.28）であった。父親ではCHDの調整後HRは1.08（95%CI=1.05-1.12）であった。同胞分析で調整後、HRの増加は母親では同様に有意であったが、父親ではその関連が消失した（HR 0.98（95%CI=0.90-1.06））。</p> <p>結論：AUDの子供を持つことは、CHD発症リスク上昇と関連する可能性が示唆された。同胞分析において父親の関連が消失したことは、遺伝的および環境的要因を共有した結果と考えられた。AUDの子供を持つ女性に対する予防の取組みの必要性が示唆された。</p>		